

1989年1月1日～2025年11月1日の間に  
当科においてリンパ増殖性疾患の治療を受けられた方  
およびそのご家族の方へ

— 「リンパ増殖性疾患の診断基準確立と病態解明」へご協力をお願い—

研究機関名 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター  
研究機関長 久保 俊英

研究責任者 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 病理診断科 磯田 哲也  
研究分担者 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 病理診断科 神農 陽子

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

リンパ増殖性疾患（IgG4 関連疾患、キャスルマン病、免疫不全関連リンパ増殖性疾患、リウマチ膠原病関連リンパ増殖症など）は、リンパ球が異常増殖する病気です。この疾患は原因やその病態はほとんど分かっていません。そこで、この研究で明確な診断基準を確立し、病態を解明することで新しい治療法の開発に繋がりたいと考えています。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究を行うことにより、リンパ増殖性疾患の明確な診断基準を確立することができ、将来的にリンパ増殖性疾患に対して適切な治療選択を迅速に行えるようになる可能性があります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

1989年1月1日～2025年11月1日の間に岡山大学病院病理診断科もしくは岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学分野（腫瘍病理）、および共同研究機関において「リンパ増殖性疾患」と病理診断された方。

※岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学分野（腫瘍病理）に病理診断依頼のあった他施設の方を含みます。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年12月31日

### 3) 研究方法

1989年1月31日～2025年11月1日の間に、岡山大学病院病理診断科もしくは岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学分野（腫瘍病理）において「リンパ増殖性疾患」と病理診断された方の試料を解析し、生命予後や臨床情報との関連を検討します。

### 4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、以下の項目について、既存試料を取得し、使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩し

ないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

(1) すでに保存されている病理診断にもちいた標本(診療で用いた検査の残余検体です)

パラフィンブロックまたは凍結検体より切片の切り出しを行い、免疫染色、in situ hybridization を行います。必要に応じてDNAまたはRNAを抽出し、遺伝子再構成の有無、診断や治療方針、生命予後に影響を与えられとされる遺伝子変異の有無、遺伝子発現解析、腫瘍化の原因と報告されているウイルスの有無等についても適宜検索します。これはすべて体細胞変化レベルでの検討であり、胚細胞型遺伝子研究を含みません。

(2) 血液検体：(診療で用いた検体の残余検体)

リンパ増殖性疾患で変動すると考えられる血清中のサイトカインの値等を検索します。または血液中に含まれる腫瘍細胞についてもフローサイトメトリー、免疫組織化学染色、DNA/RNA抽出ならびPCR等を行う。

## 5) 使用する情報

以下の項目について、既存情報を取得します。

(1) 患者基本情報：年齢、性別、臨床、病理ならびに放射線診断名、治療法ならびに治療効など電子カルテ、または古い情報の場合は必要に応じて紙カルテを参照します。

(2) 血液検査および生化学検査データなどの臨床検査データ

電子カルテ、または古い情報の場合は必要に応じて紙カルテを参照します。

## 6) 試料・情報の保存、二次利用

本研究で収集した試料・情報は、研究の中止または研究終了後10年が経過した日までの間施設可能な場所(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学分野(腫瘍病理))で保存し、保管期間終了後は個人情報に十分注意して破棄します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

本研究で収集した試料・情報は、他機関への提供を行わないが、共同研究の依頼があった場合には既存の試料ならびに情報の提供を行うことも予測されます。また、研究を行うにあたり、外部施設にて解析が必要になった場合には、既存検体を送付することも予想されます。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承い

ただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合があります。ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院保健学域検査技術科学分野病態情報科学領域

職名：教授

氏名：佐藤康晴

電話：086-235-7150（平日：8時30分～17時00分）

#### <共同研究機関>

岡山赤十字病院、岡山市民病院、岡山済生会病院、岡山労災病院、岡山医療センター、津山中央病院、興生病院、高梁中央病院、市立備前病院、厚生連高岡病院、榊原病院、金田病院、寺岡記念病院、玉野市民病院、十全総合病院、倉敷成人病センター、倉敷第一病院、倉敷中央病院、神戸西市民病院、姫路市医師会病院、赤穂中央病院、姫路聖マリア病院、姫路赤十字病院、兵庫県立がんセンター、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター、福山市民病院、福山市医師会健康支援センター、日本鋼管福山病院、中国中央病院、福山医療センター、広島赤十字・原爆病院、尾道市民病院、JA尾道総合病院、広島市民病院、広島西医療センター、東広島医療センター、呉医療センター、安佐市民病院、中電病院、鳥取市立病院、香川労災病院、香川県立中央病院、三豊総合病院、住友別子病院、愛媛県立中央病院、松山赤十字病院、市立宇和島病院、四国がんセンター、岩国医療センター、名古屋医療センター、富山県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、黒部市民病院、石川県立中央病院、恵寿金沢病院、今給黎総合病院、福島県立医科大学、埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、東海大学、名古屋大学、愛知医科大学、京都大学、神戸大学、川崎医科大学、高知大学、徳島大学、岐阜大学、金沢大学、金沢医科大学、福井県済生会病院、富山大学、島根大学、鳥取大学、産業医科大学、山梨大学、山形大学、山口大学、鹿児島大学、藤田保健衛生大学、札幌医科大学、岩手医科大学、和歌山県立医科大学、虎ノ門病院および分院、和歌山赤十字医療センター、松阪中央病院、琉球大学、がん研有明病院、愛媛県立医療技術大学、さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院、新松戸中央総合病院